

ベトナムへの高度浄水システム(U-BCF)の輸出

【第1ステップ】 JICA草の根技術協力事業(平成22~24年度)

対象：ベトナム国ハイフォン市(北九州市と友好都市関係)
内容：北九州市のU-BCFの実証プラントを設置。
関連する浄水技術の移転。(効果検証を含む)

1年間の実証実験の結果、U-BCFの有効性が確認された。

【第2ステップ】 小規模浄水場へ導入⁽⁹⁸⁾

ハイフォン市は、自己資金で小規模浄水場(5,000m³/日)にU-BCFを導入・整備することを決定。2013年12月、ビンバオ浄水場に完成。

北九のBCFは、途上国にも輸出可能であることが証明された。

【第3ステップ】 主力浄水場へ導入

アンズオン浄水場改善計画準備調査(2014年度)⁽¹⁰⁰⁾

平成26年7月、ODA協力準備調査を開始。主力浄水場にも早期にU-BCFを導入し、ハイフォンの多くの市民からU-BCF処理水に対して高評価を受けることが必要。ハイフォン市をベトナム国におけるU-BCF普及の広告塔とする。

ベトナム国内・東南アジア諸国へ拡大

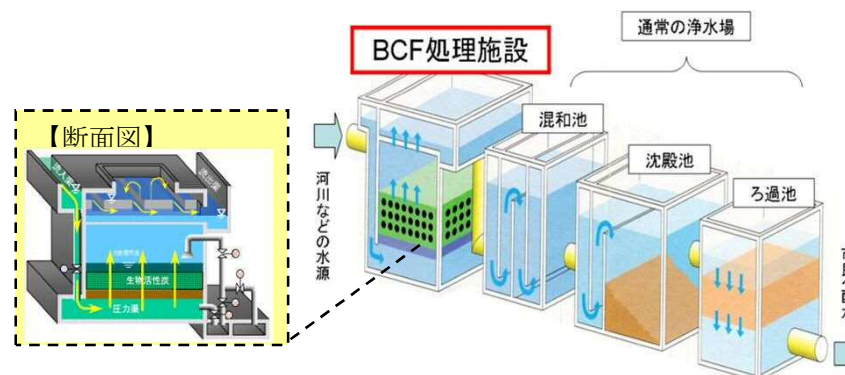
北九州市の高度処理(U-BCF)の海外ビジネス展開

北九州市が国内特許を有する上向流式生物接触ろ過(Upward Biological Contact Filtration)

微生物による浄化作用を利用した原水処理で、トリハロメタン対策として有効

通常の高度処理と比べ

建設コスト:約1/2 ランニングコスト:約1/20



高度浄水処理技術U-BCFのニーズ調査

(JICA調査事業:2013年度)⁽⁹⁹⁾

ベトナム国の主要8都市・省におけるU-BCFのニーズや導入適地、技術移転の可能性を探り、U-BCFの普及を目指す。

対象都市・省

ハノイ特別市、ハイ・ズン省、ナム・ディン省、クワン・ニン省、ハイフォン市、カン・フォア省、ビン・ツオン省、ティン・ギャン省

受注者:

日本工営(株)(同社から上下水道局が受託)等